# 事業報告

## Ⅰ　法人の概況

１．設立年月日
　　昭和５６年４月２７日
２．公益財団法人移行登記日
　　平成２３年４月１日
３．目的
　この法人は、医学、薬学、医工学、その他関連諸科学を基礎とし、これら諸科学の医療への応用に関する調査研究及びその助成を行い、もって国民保健に関する科学の進歩及び国民の福祉の向上に寄与することを目的とする。
４．事業内容
（１）疾病の予防、診断、治療における医工学の応用に関する調査研究及びこれらに対する助成。
（２）医薬品及び医療技術の開発の動向に関する調査研究及びこれらに対する助成。
（３）医薬品及び医療技術に関する資料及び情報の収集整備。
（４）疾病の予防、診断、治療及び最新の医療技術に関する学術講演会の開催。
５．所轄官庁
　　内閣府
６．事業所在地
　　名古屋市東区東片端町８番地
７．役員等に関する事項
（１）理事及び監事　令和８年３月３１日現在　（五十音順）

| 役　職 | 氏　　名 | | 現職・担当職務 | 最終官職 |
|---|---|---|---|---|
| 理事長 | 田中　基博 | 常　勤 | 株式会社スズケン | |
| 理　事 | 浅野　茂 | 非常勤 | 株式会社スズケン代表取締役社長執行役員 | |
| 理　事 | 井澤　英夫 | 非常勤 | 藤田医科大学医学部主任教授 | |
| 理　事 | 片岡　貞 | 非常勤 | 岐阜薬科大学名誉教授 | |
| 理　事 | 河盛　隆造 | 非常勤 | 順天堂大学名誉教授 | |
| 理　事 | 工藤　翔二 | 非常勤 | 公益財団法人結核予防会複十字病院院長<br>公益財団法人結核予防会理事<br>日本医科大学名誉教授 | |
| 理　事 | 佐久間一郎 | 非常勤 | 東京電機大学研究推進社会連携センター<br>特別専任教授<br>東京大学特命教授 | |
| 理　事 | 佐藤　公道 | 非常勤 | 京都大学名誉教授 | |
| 理　事 | 外山　淳治 | 非常勤 | 名古屋大学名誉教授 | |

| 役 職 | 氏　　名 | | 現職・担当職務 | 最終官職 |
|---|---|---|---|---|
| 理 事 | 二川　一男 | 非常勤 | 株式会社日本ヘルスケア総合研究所上席研究員 | |
| 理 事 | 別所　知佳 | 非常勤 | 箏曲生田流宮城社大師範 | |
| 理 事 | 室原　豊明 | 非常勤 | 名古屋大学大学院医学系研究科教授 | |
| 監 事 | 上田　圭祐 | 非常勤 | 公認会計士上田圭祐事務所所長 | |
| 監 事 | 小坂井順生 | 非常勤 | 株式会社スズケン | |

（２）評議員　令和８年３月３１日現在　（五十音順）

| 氏　　名 | | 現職・担当職務 | 最終官職 |
|---|---|---|---|
| 石川　　清 | 非常勤 | 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院名誉院長<br>東海学園大学学長 | |
| 磯野　修作 | 非常勤 | 株式会社三和化学研究所代表取締役社長 | |
| 岡島　徹也 | 非常勤 | 名古屋大学糖鎖生命コア研究所教授<br>名古屋大学大学院医学系研究科教授 | |
| 川村　　孝 | 非常勤 | 京都大学名誉教授 | |
| 児玉　逸雄 | 非常勤 | 名古屋大学名誉教授 | |
| 田中　博文 | 非常勤 | 株式会社スズケン取締役専務執行役員 | |
| 田村　富志 | 非常勤 | 株式会社スズケン顧問 | |
| 錦見　昭彦 | 非常勤 | 国立長寿医療研究センター室長 | |
| 堀田　　饒 | 非常勤 | 名古屋大学名誉教授・中部労災病院名誉院長 | |

８．職員に関する事項　令和８年３月３１日現在

| 職員数 | 前期末比増減 |
|---|---|
| ２名 | ０名 |

# Ⅱ　事業の状況

## １．事業の実施状況

### （１）助成金の交付

#### ①調査研究の助成（公益目的事業１）

ａ．令和７年度の調査研究助成の募集は、各大学並びに研究機関へ案内書を送付しホームページに募集要領、助成金申請書を掲載した。

ｂ．令和７年度７月１日から７月３１日の募集期間で２９２件の応募があった。

ｃ．選考委員による約１ヶ月間の予備審査を経て令和７年１０月２１日の調査研究助成選考委員会で審査・選考され、同日の理事会において１１６件総額１億４１５０万円の交付を決定した。
※ 資料（１）

ｄ．助成金の贈呈式を、令和７年１２月４日午後５時から名古屋マリオットアソシアホテルにおいて行った。当日は、助成金を交付される研究者と財団役員・評議員・選考委員その他関係者が出席し、別所理事長の挨拶があり、各研究者に１１６件１億４１５０万円を交付した。

#### ②疾患別指定研究助成（公益目的事業２）

ａ．令和７年度疾患別指定研究助成の募集は、ホームページに募集要領、助成金申請書を掲載した。

ｂ．令和７年８月１日から８月３１日の募集期間で３件の応募があった。

ｃ．令和７年９月１９日に選考委員会規程第８条に基づく疾患別指定研究助成選考委員会は書面表決方式をもって審査・選考され、１０月２１日に理事会の決議において２件総額２０００万円の助成金を決定し一括交付した。※ 資料（２）

#### ③国際交流助成（公益目的事業３）

ａ．令和７年度の国際交流助成の募集はホームページに募集要領、助成金申請書を掲載した。

ｂ．令和７年４月１日から４月３０日の募集期間で１０件の応募があった。

ｃ．令和７年５月２１日に選考委員会規程第８条に基づく国際交流助成選考委員会は書面表決方式をもって審査・選考され、６月１２日に理事会の決議において１０件総額１５００万円の助成金を決定し交付した

ｄ．令和８年度の国際交流助成（臨時）の募集はホームページに募集要領、助成金申請書を掲載した。

ｅ．令和８年１月４日から１月３１日の募集期間で１０件の応募があった。

ｆ．令和８年２月１７日に選考委員会規程第８条に基づく国際交流助

成選考委員会は書面表決方式をもって審査・選考され、３月３日に理事会の決議において９件総額１０００万円の助成金を決定し交付した。※ 資料（３）

④心電学に関する助成（公益目的事業４）

令和７年５月１９日に選考委員会規程第８条に基づく心電学助成選考委員会は書面表決方式をもって審査・選考され、６月１２日に理事会の決議において１件総額１５０万円の助成金を決定し交付した。

※資料（４）

（２）学術講演会の開催（公益目的事業５）

① 第８８回学術講演会の開催

令和７年６月１２日午後６時よりホテル日航熊本ホテルにおいて「第８８回学術講演会」を、熊本県医師会・熊本県糖尿病対策推進会議の後援を得てハイブリッド開催で行った。会場・Ｗｅｂ併せて約９２０名余の参加があった。

テ―マ：「糖尿病と心疾患」を考える

代表世話人：熊本大学 学長　小川久雄先生

講演Ⅰ：「糖尿病と動脈硬化」

座長：熊本大学大学院生命科学研究部代謝内科学 教授 窪田直人先生

講師：順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学

教授 綿田裕孝先生

講演Ⅱ：「糖尿病と循環器疾患、血管再生医療と心不全」

座長：熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学

教授 辻田賢一先生

講師：名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学

教授 室原豊明先生

② 第８９回学術講演会の開催

令和７年１２月４日午後６時より名古屋マリオットアソシアホテルにおいて「第８９回学術講演会」を、愛知県医師会の後援を得てハイブリッド開催で行った。

会場・Ｗｅｂ併せて約３９０名余の参加があった。

テ―マ：『糖尿病診療の革新：ビッグデータと ICT が支える個別最適化と地域連携』

代表世話人・座長：京都大学大学院医学研究科

糖尿病・内分泌・栄養内科学 教授 矢部大介先生

講演Ⅰ：「糖尿病クラスター分類から考える個別化医療のこれから」

講師：福島県立医科大学医学部糖尿病内分泌代謝内科学講座

教授　島袋充生先生

講演Ⅱ：「デジタル技術が拓くこれからの糖尿病医療」

講師：徳島大学先端酵素学研究所 副所長

糖尿病臨床・研究開発センター

センター長・教授　松久宗英先生

（３）助成研究成果の発表

研究報告の収録刊行は、令和５年度で助成金を交付した研究者の研究成果を中心に纏め、「医科学応用研究財団研究報告２０２４

ＶＯＬ．４３」として令和８年２月刊行した。
研究報告は財団関係者・助成金受領者・全国の大学並びにその他の研究機関に７００部余りを配布した。

（４）情報及び資料の収集、整備（公益目的事業６）
医学、薬学、医工学及び関連諸科学の医療への応用に関する内外の文献、資料の収集に努めた。

２．資金調達及び設備投資の状況
当期中における設備投資は自己資金でまかないました。
また、受け入れた寄附金はありません。

３．直前５事業年度の財産及び損益の状況

単位：千円単位（千円未満切捨）

| 事業年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期繰越収支差額 | 180,934 | 187,863 | 205,566 | 229,256 | 241,021 |
| 当期収入合計 | 347,930 | 324,012 | 313,719 | 337,788 | 358,450 |
| 当期支出合計 | 341,002 | 306,309 | 290,029 | 326,023 | 345,238 |
| 当期収支差額 | 6,928 | 17,703 | 23,690 | 11,765 | 13,212 |
| 次期繰越収支差額 | 187,863 | 205,566 | 229,256 | 241,021 | 254,233 |
| 資産合計 | 13,504,363 | 12,981,758 | 15,317,684 | 15,889,550 | 17,695,212 |
| 負債合計 | 8,400 | 8,700 | 8,580 | 8,470 | 7,720 |
| 正味財産 | 13,495,963 | 12,973,058 | 15,309,104 | 15,881,080 | 17,687,492 |

４．役員会等に関する事項
（１）理事会の開催
①令和７年５月１２日午後５時３０分よりANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋において、令和７年度第１回理事会を開催し次の議案を承認した。
第１号議案　令和６年度決算剰余金扱いについて
第２号議案　令和６年度事業報告について
第３号議案　令和６年度財務諸表について
第４号議案　定時評議員会の議案について
②令和７年６月１２日午後４時よりホテル日航熊本において、令和７年度第２回理事会を開催し次の議案を承認した。
第１号議案　令和７年度調査研究助成募集について
第２号議案　令和７年度国際交流助成金交付について
第３号議案　令和７年度心電学助成金交付について
第４号議案　令和７年度疾患別指定研究助成募集について
第５号議案　顧問の選任について
③令和７年６月１２日午後５時よりホテル日航熊本において、令和７年度第３回理事会を開催し次の議案を承認した。
第１号議案　理事長・常務理事の選定について

第２号議案　理事会の職務代行者順序について
④令和７年１０月２１日午後５時３０分より名鉄グランドホテルにおいて、令和７年度第４回理事会を開催し次の議案を承認した。
第１号議案　令和７年度調査研究助成金交付決定について
第２号議案　令和７年度疾患別指定研究助成金交付決定について
第３号議案　国際交流助成について
⑤令和７年１２月２３日、常務理事田中基博が、理事の全員及び監事の全員に対して、理事会決議事項の提案書を発し、令和７年１２月２６日に理事の全員から書面により同意の意思表示、及び監事の全員から書面により異議が無いとの意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第96条及び定款第34条2項の規定に基づく理事会の決議の省略の方法により次の議案の決議があったものとみなされた。
第１号議案　理事長選定についての承認の件
⑥令和８年３月３日午後４時３０分より名古屋東急ホテルにおいて、令和７年度第５回理事会を開催し次の議案を承認した。
第１号議案　　令和８年度事業計画について
第２号議案　　令和８年度収支予算について
第３号議案　　公益目的事業の種類及び内容について
第４号議案　　調査研究助成選考委員の一部選任について
第５号議案　　令和８年度選考委員長の選任について
第６号議案　　令和８年度国際交流助成(臨時)助成金交付について
第７号議案　　臨時評議員会の議案について

（２）評議員会の開催
①令和７年６月１２日午後４時２５分よりホテル日航熊本において、令和７年度定時評議員会を開催し次の議案を承認した。
第１号議案　令和６年度決算剰余金扱いについて
第２号議案　令和６年度事業報告・財務諸表について
第３号議案　役員の改選について
②令和８年３月３日午後５時３０分より名古屋東急ホテルにおいて、令和７年度臨時評議員会を開催し次の議案を承認した。
第１号議案　令和８年度事業計画について
第２号議案　令和８年度収支予算について
第３号議案　公益目的事業の種類及び内容について
第２号議案　役員の一部選任について

（３）調査研究助成選考委員会の開催
①令和７年６月１２日午後３時よりホテル日航熊本において、令和７年度第１回調査研究助成選考委員会を開催し次の議案を承認した。
第１号議案　令和７年度調査研究助成募集について
第２号議案　令和７年度調査研究助成予備審査について
②令和７年１０月２１日午後４時３０分より、名鉄グランドホテルにおいて令和７年度第２回調査研究助成選考委員会を開催し、次の議案を承認

した。
第１号議案　令和７年度調査研究助成金の課題別配分及び助成金交付の審査選考について

（４）疾患別指定研究助成選考委員会の開催
令和７年９月１日、理事長別所芳樹が、疾患別指定研究助成選考委員の全員に対して、疾患別指定研究助成選考委員会決議事項の提案書を発し令和７年９月１９日に疾患別指定研究助成選考委員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、選考委員会規程第８条に基づく疾患別指定研究助成選考委員会の決議の省略の方法により次の議案の決議があったものとみなされた。

第１号議案　令和７年度審査選考について

（５）国際交流助成選考委員会の開催
①令和７年５月１４日、理事長別所芳樹が、国際交流助成選考委員の全員に対して、国際交流助成選考委員会決議事項の提案書を発し、令和７年５月２１日に国際交流助成選考委員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、選考委員会規程第８条に基づく国際交流助成選考委員会の決議の省略の方法により次の議案の決議があったものとみなされた。
第１号議案　令和７年度審査選考について
②令和８年２月９日、理事長田中基博が、国際交流助成選考委員の全員に対して、国際交流助成選考委員会決議事項の提案書を発し、令和８年２月１７日に国際交流助成選考委員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、選考委員会規程第８条に基づく国際交流助成選考委員会の決議の省略の方法により次の議案の決議があったものとみなされた。
第１号議案　令和８年度臨時審査選考について

（６）心電学助成選考委員会の開催
令和７年５月８日、理事長別所芳樹が、心電学助成選考委員の全員に対して、心電学助成選考委員会決議事項の提案書を発し、令和７年５月１９日に心電学助成選考委員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、選考委員会規程第８条に基づく心電学助成選考委員会の決議の省略の方法により次の議案の決議があったものとみなされた。
第１号議案　令和７年度審査選考について

## Ⅲ　株式等の保有の状況

２５ページの財産目録に記載のとおり。

## Ⅳ　運営体制の充実を図るための取組

理事の選任にあたっては、法人の事業内容に精通し、かつ法人運営に必要な専門知識・経験を有する者を選任することを基本方針としており、理事会における実質的な審議の確保に努めている。理事会の開催に際しては、各理事が十分な情報をもとに審議・意思決定を行うことができるよう、事前に関係資料を送付するとともに、事務局との連絡体制を整備している。監事については、業務執行の適法性の確認及び財務諸表の監査等を通じて、法人運営に対するチェック機能の発揮に努めている。なお、外部理事・外部監事の選任については、法人のガバナンス強化の観点から今後の重要な検討課題として認識しており、内閣府が公表する『公益法人の自主的・自律的ガバナンス強化のための調査報告書』（令和７年３月）等も参照しつつ、当法人の規模・実態に相応しい運営体制の充実に引き続き取り組む。

資料（１）　令和７年度調査研究助成金交付

（研究者の所属は令和７年１２月４日現在）

**助成課題１　より豊かな生活に貢献する医療技術に関する研究**

（６２件　６７５０万円）　（敬称略、助成額・５０音順）

| 研　究　者　名 | 研　究　テ　ー　マ | 助成額 |
|---|---|---|
| 名古屋大学<br>大学院医学系研究科<br>教授　榎本　篤 | 加齢に伴う心線維化･心機能低下の機序解明とその治療法の開発 | 300 万円 |
| 九州大学<br>大学院医学研究院<br>助教　波多江　龍亮 | 脳腫瘍オルガノイドを活用した代謝改善 CAR-T 細胞治療法の樹立 | 200 万円 |
| 大阪大学<br>微生物病研究所<br>特任講師　平井　敏郎 | mRNA-LNP 技術を用いた、上気道への組織局在型記憶 T 細胞誘導経鼻ワクチンの開発 | 200 万円 |
| 大阪府立病院機構<br>大阪国際がんセンター<br>主任研究員　平塚　徹 | 酸素透過性膜を用いた高機能人工皮膚モデルの開発と再生医療・創薬応用への展開 | 200 万円 |
| 大阪大学<br>大学院医学系研究科<br>准教授　皆巳　和賢 | 超高線量率放射線(FLASH)照射技術の開発 | 200 万円 |
| 自治医科大学附属病院<br>教授　相澤　健一 | 極微量採血と質量分析を融合した免疫抑制薬モニタリングの革新と臨床応用 | 100 万円 |
| 琉球大学病院<br>医員　赤嶺　博行 | ウェアラブルデバイスと AI を用いた重症筋無力症の客観的症状評価システムの開発 | 100 万円 |
| 岡山大学<br>学術研究院保健学域<br>助教　淺原　孝 | 光子計数型 CT 装置で生成した定量画像による肺腫瘍の組織分析技術の開発 | 100 万円 |
| 神戸大学<br>大学院医学研究科<br>特命教授　浅利　貞毅 | 皮下血管新生促進技術を応用した次世代型バイオ人工膵島補充療法の開発 | 100 万円 |
| 山形大学<br>大学院理工学研究科<br>教授　阿部　宏之 | 高度生殖医療を実現する次世代型半導体チップ受精卵品質診断システムの開発 | 100 万円 |
| 長崎大学病院<br>助教　今村　一歩 | 膵臓癌患者におけるスマートウォッチを用いた手術前後の身体活動基準の定量的評価の試みと短期･長期成績との関連性に関する研究 | 100 万円 |
| 慶應義塾大学　医学部<br>専任講師　上蓑　義典 | Model Context Protocol の実装による生成 AI を活用した病院内抗菌薬適正使用の実践 | 100 万円 |
| 東北大学<br>大学院医学系研究科<br>教授　海老原　覚 | 頚胸部聴診モニタリング誤嚥検知システムによる嚥下機能低下測定装置の開発 | 100 万円 |

| 研　究　者　名 | 研　究　テ　ー　マ | 助成額 |
|---|---|---|
| 奈良先端科学技術大学院大学<br>准教授　　大竹　義人 | 臨床画像から非侵襲的に三次元筋線維走行を推定する AI の開発 | 100 万円 |
| 九州大学病院 別府病院<br>助教　　大津　甫 | QOL を守るための大腸がん術後再発リスク評価システムの確立 | 100 万円 |
| 名古屋大学<br>大学院医学系研究科<br>特任准教授　大橋　浩二 | 新規アディポカイン、マイオカインを標的とした加齢関連疾患の治療開発 | 100 万円 |
| 横浜市立大学<br>大学院医学研究科<br>助教　　大屋　貴志 | 超小型 TMR センサを用いた次世代低侵襲カテーテルナビゲーション技術の開発－術中血管変形をリアルタイム補正可能な統合型インターベンション支援システムの実現－ | 100 万円 |
| 東海学園大学　教育学部<br>教授　　紙谷　武 | 「受け身」評価アプリケーションの開発～転倒による外傷事故減少に向けた革新的挑戦～ | 100 万円 |
| 国立健康危機管理研究機構<br>国立感染症研究所<br>研究員　　菊池　風花 | ワクチン予防可能疾患の抗体を一括定量する cell-free PCR 法の開発 | 100 万円 |
| 群馬大学<br>生体調節研究所<br>教授　　北村　忠弘 | グルカゴンを含めた新たな糖尿病疾患概念の構築～新しい病態診断法、治療法の開発に向けて～ | 100 万円 |
| 筑波大学　生命環境系<br>助教　　木下　奈都子 | 筋肉活動バロメーター:暮らしの中で動かない植物が非侵襲的に教えてくれる | 100 万円 |
| 新潟大学医歯学総合病院<br>医員　　木村　尭 | 超高齢社会に向けた新規体平衡機能検査装置の開発 | 100 万円 |
| 新潟大学　教育学部<br>助教　　国正　陽子 | 非侵襲的骨格筋生体ダイナミクスイメージング法と代謝ダイナミクス測定による骨格筋力発揮効率測定法の開発 | 100 万円 |
| 奈良先端科学技術大学院大学<br>教授　　栗崎　晃 | 胃組織再生基盤技術の開発 | 100 万円 |
| 三重大学<br>医学部附属病院<br>准教授　　栗田　泰郎 | 地域気象情報と三重 ACS レジストリを統合し、急性心筋梗塞の発症リスクを予測するモデルを開発し、予測システムとして社会実装すること | 100 万円 |
| 藤田医科大学　医学部<br>講師　　黒岩　宇 | 変形性関節症に対するバイオマーカーとしての血中 BMP7 の DNA メチル化の有用性 | 100 万円 |
| 北海道大学<br>大学院薬学研究院<br>教授　　小林　正紀 | 授乳婦における ADHD 治療の最適化：広域医療に対応した医療支援ツールの開発 | 100 万円 |
| 国立長寿医療研究センター<br>研究部長　　重水　大智 | 多層オミクス解析による認知症の病態解明と早期診断を目指した血液バイオマーカーの開発 | 100 万円 |
| 九州大学病院<br>助教　　篠原　啓介 | 皮膚交感神経活動（SKNA）を用いた新規自律神経評価法の確立と心血管病への応用 | 100 万円 |

| 研　究　者　名 | 研　究　テ　ー　マ | 助成額 |
|---|---|---|
| 京都大学<br>医学部附属病院<br>講師　志水　陽一 | 新規長半減期型 PET 診断薬を用いたインビボ GLP-1 発現定量評価法の開発 | 100 万円 |
| 産業技術総合研究所<br>主任研究員<br>杉浦　悠紀 | 虫歯ゼロを達成するフッ素に替わる歯質被覆材の創成 | 100 万円 |
| 金沢大学<br>医薬保健研究域薬学系<br>教授　鈴木　亮 | 新規アレルギー抑制分子によるマスト細胞の機能制御と創薬研究への展開 | 100 万円 |
| 筑波大学　医学医療系<br>准教授　関谷　元博 | 健康寿命増進に向けた新しいバイオマーカーの開発 | 100 万円 |
| 自治医科大学　医学部<br>講師　園田　洋史 | 外科的手術検体のバイオリソースとしての活用および病態解析・治療への応用に向けたデータ収集・管理・マルチオミクス解析システムの構築 | 100 万円 |
| 国立長寿医療研究センター<br>部長　田中　達英 | 新規疼痛関連因子に対する鎮痛薬開発 | 100 万円 |
| 宮崎大学<br>工学教育研究部<br>教授　THI THI ZIN | 少子化時代の安心出産を支えるスマート周産期ケア：AI 統合による胎児から新生児への切れ目ない見守りシステム | 100 万円 |
| 富山県立大学　工学部<br>教授　長井　良憲 | 腸内細菌と小腸上皮細胞との相互作用による Th17 分化機構の解明：腸内細菌制御に基づく炎症性疾患制御法の確立 | 100 万円 |
| 国立循環器病研究センター<br>特任研究員　中尾　葉子 | マルチモーダル AI モデルによる心房細動罹患の早期診断予測ツールの開発と社会実装に向けた研究 | 100 万円 |
| 広島大学<br>大学院医系科学研究科<br>准教授　中佐　智幸 | 超音波動態解析を用いた足部変形疾患の非侵襲的進行予想モデルの開発 | 100 万円 |
| 九州大学<br>大学院医学研究院<br>教授　中島　欽一 | 脊髄損傷後の腸内細菌叢変容を介したうつ及び認知機能障害発症の機序解明と治療法の創出 | 100 万円 |
| 広島大学<br>大学院医系科学研究科<br>教授　長瀬　健一 | エクソソーム診断精度を革新的に向上させるエクソソーム調製法の創出 | 100 万円 |
| 順天堂大学　医学部<br>非常勤助教<br>中出　泰輔 | 高齢心不全患者における運動強度可視化のための次世代非侵襲型汗乳酸センサーの開発と臨床応用 | 100 万円 |
| 北海道大学<br>大学院獣医学研究院<br>准教授　中村　鉄平 | リン酸化プルランを用いた多様な組織反応を誘導する細胞操作基盤の確立 | 100 万円 |
| 兵庫医科大学<br>リハビリテーション学部<br>准教授　野添　匡史 | 回復期リハビリテーション病棟における多人数監視型身体活動管理システムを用いた身体活動促進プログラムの開発 | 100 万円 |

| 研　究　者　名 | 研　究　テ　ー　マ | 助成額 |
|---|---|---|
| 京都大学<br>医生物学研究所<br>教授　野田　岳志 | 動物ウイルスのパンデミックリスクを予測可能なヒト鼻腔オルガノイドの確立 | 100 万円 |
| あいち小児保健医療総合センター<br>医長　野村　羊示 | 小児心筋炎におけるサイトカインプロファイルを用いた診断･予後予測モデルの機械学習による他施設間検証 | 100 万円 |
| 関西医科大学<br>教授　蓮尾　英明 | 呼吸を連続モニタリングする非侵襲的なウェアラブル装置を用いて、精神的緊張の心身反応である浅速呼吸を日常生活下で検知し、振動による注意喚起をする機能を付加した装置を開発する。さらに、その装置は適切な呼吸を振動で誘導する呼吸誘導装置としての機能も果たす | 100 万円 |
| 慶應義塾大学　薬学部<br>教授　長谷　耕二 | アレルギー治療を目指した免疫制御ナノ粒子『トレロソーム』の創出 | 100 万円 |
| 大阪公立大学<br>大学院医学研究科<br>講師　長谷川　樹 | MCI および初期アルツハイマー病患者の包括的評価と予後予測：心理検査・画像診断・アンケートを用いた多面的アプローチ | 100 万円 |
| 愛知医科大学　医学部<br>教授　菱田　朝陽 | 血中 SDF-4・miRNA 測定と遺伝リスクによる大腸がんスクリーニング法の確立 | 100 万円 |
| 京都大学<br>大学院医学研究科<br>講師　藤田　義人 | 糖尿病･肥満症の病態評価を目指した褐色脂肪組織イメージングプローブの開発 | 100 万円 |
| 岩手医科大学　薬学部<br>講師　藤原　俊朗 | 深層学習を用いた脳内水動態評価に基づく頭痛分類支援システムの開発 | 100 万円 |
| 愛知医科大学　医学部<br>研究員　舟木　空哉 | 冠動脈バイパス術後患者における遠隔介入システムの重症化リスク因子是正に関する予備的研究 | 100 万円 |
| 藤田医科大学　医学部<br>助教　松本　祐嗣 | 血中セルフリーDNA 解析を用いた川崎病における新規冠動脈瘤形成の予測スコアリングシステムの開発:多施設共同研究による検証と構築 | 100 万円 |
| 三重大学<br>大学院工学研究科<br>教授　宮本　啓一 | 簡易的な粘膜免疫力測定装置の開発 | 100 万円 |
| 藤田医科大学　医学部<br>臨床教授　山田　晶 | 赤血球輸血の心機能に対する短期的効果の検討 | 100 万円 |
| 北海道大学病院<br>講師　山田　勝久 | 椎間板性腰痛に対する高純度間葉系幹細胞とソフトバイオマテリアルを用いた再生治療開発 | 100 万円 |

| 研　究　者　名 | 研　究　テ　ー　マ | 助成額 |
|---|---|---|
| 富山大学<br>学術研究部医学系<br>准教授　山田　理絵 | 高齢糖尿病患者の眼球運動を指標としたヘルスリテラシー評価と非侵襲的血糖管理予測 AI モデルの構築 | 100 万円 |
| 岐阜大学<br>大学院医学系研究科<br>大学院生　山原　直紀 | 基質の非特異凝集に注目した、筋萎縮性側索硬化症を血液で診断するための第 2 世代 TDP-43 シード増幅アッセイの開発 | 100 万円 |
| 慶應義塾大学　医学部<br>専任講師　山元　良 | 非侵襲貼付型センサによる在宅 Auto Triage システムの開発と検証 | 100 万円 |
| 福岡大学　医学部<br>准教授　横溝　久 | 糖尿病患者の QOL 向上を目指した長時間作用型血糖降下薬の開発と糖尿病への治療応用 | 100 万円 |
| 新潟大学<br>大学院医歯学総合研究科<br>助教　角谷　梨花 | 関節リウマチ患者における骨形態の特徴を人工知能(AI)を駆使して抽出し、日常生活指導や治療法選択を提案する技術を開発する | 50 万円 |

## 助成課題２　生活習慣病における医学、薬学の萌芽的研究

（５４件　７４００万円）　（敬称略、助成額・５０音順）

| 研　究　者　名 | 研　究　テ　ー　マ | 助成額 |
|---|---|---|
| 九州大学<br>生体防御医学研究所<br>准教授　伊藤　美菜子 | アレルギー関連 ILC2 が誘導する発達障害の病態の解明 | 200 万円 |
| 東北大学<br>大学院医学系研究科<br>助教　井上　晋一 | 新規熱産生関連因子による褐色脂肪組織の活性化を介した肥満および 2 型糖尿病予防・治療法の開発 | 200 万円 |
| 京都大学<br>大学院医学研究科<br>准教授　林　到炫 | ドパミン受容体の新規アロステリックモジュレーターの創出 | 200 万円 |
| 岐阜大学<br>大学院連合創薬医療情報研究科<br>准教授　遠藤　智史 | タンパク質恒常性因子 p97 を狙った新規がん治療戦略の開発 | 200 万円 |
| 熊本大学病院<br>医員　岡川　章太 | SerpinA1 により活性化された褐色脂肪由来ミトコンドリアデリバリーによる心筋保護 | 200 万円 |
| 名古屋大学<br>環境医学研究所<br>講師　小野　大輔 | 概日時計の出力破綻による精神疾患発症メカニズムの解明 | 200 万円 |
| 静岡県立大学　薬学部<br>准教授　刀坂　泰史 | アルギニンメチル化酵素を介した腎臓線維化促進機構の解明 | 200 万円 |
| 名古屋大学<br>医学部附属病院<br>病院助教　川瀬　治哉 | 虚血性心疾患における血管内皮非定型ケモカイン受容体の機能解明と創薬応用 | 200 万円 |

| 研　究　者　名 | 研　究　テ　ー　マ | 助成額 |
|---|---|---|
| 千葉大学<br>大学院医学研究院<br>特任准教授<br>佐久間　一基 | コリン欠乏による膜脂質の変容を介した急性肝脂肪蓄積機構の解明とそれに基づく代謝機能障害関連脂肪肝炎の創薬開発 | 200 万円 |
| 名古屋大学<br>大学院医学系研究科<br>特任講師　佐藤　和秀 | 光操作による新規疾患動物モデル創生 | 200 万円 |
| 大阪大学<br>大学院薬学研究科<br>助教　白倉　圭佑 | 血流刺激に着目した大動脈瘤発症メカニズムの解明と新規治療法の提案 | 200 万円 |
| 東京大学<br>医学部附属病院<br>助教　田中　真司 | エンドトキシン応答に基づいた腎障害の創薬開発 | 200 万円 |
| 大阪大学<br>大学院医学系研究科<br>寄附講座助教<br>長尾　博文 | 間葉系細胞由来エクソソームによる肥満･糖尿病病態への関与と T-カドヘリンによる細胞内シグナル調節機構の解明 | 200 万円 |
| 慶應義塾大学　医学部<br>助教　中道　蘭 | 加齢により変化する腎ニッチ環境が腎組織 Treg に与える影響を明らかにし、老化腎における Treg 機能の変容が AKI から CKD への進展に与える役割を解明することで､新たな免疫標的治療戦略の開発を目指す | 200 万円 |
| 帝京大学　医学部<br>講師　広浜　大五郎 | 腎臓オミクスを基盤とした日本人の生活習慣病に関する統合解析 | 200 万円 |
| 藤田医科大学<br>研究推進本部<br>講師　福村　和宏 | ポイズンエキソン標的核酸医薬によるがん特異的スプライシング治療の開発 | 200 万円 |
| 九州大学<br>大学院薬学研究院<br>准教授　諸富　洋介 | 新規血小板分画を標的とした動脈硬化症に対する治療法の開発 | 200 万円 |
| 京都大学<br>医学部附属病院<br>助教　山内　一郎 | 栄養状態と甲状腺ホルモンの連関による代謝制御機構の解明 | 200 万円 |
| 三重大学<br>大学院医学系研究科<br>助教　山川　大史 | 心臓異所性脂肪蓄積の病態意義解明と制御法開発 | 200 万円 |
| 国立がん研究センター<br>分野長　吉田　健一 | 飲酒･喫煙による尿路上皮細胞の体細胞変異獲得、発がん機序の解明 | 200 万円 |
| 東邦大学　理学部<br>准教授<br>上田　奈津実 | 生活習慣病関連神経障害モデルを用いたエクソソームの物理的特性指標開発 | 100 万円 |
| 東北大学<br>大学院薬学研究科<br>助教　五十嵐　敬幸 | 左右非対称性と性差から捉える中枢ストレス応答系の制御機構 | 100 万円 |

| 研　究　者　名 | 研　究　テ　ー　マ | 助成額 |
|---|---|---|
| 京都産業大学<br>　生命科学部<br>教授　　潮田　亮 | 生活習慣病関連因子フォールディング中間体の創薬基盤 | 100 万円 |
| 名古屋工業大学<br>准教授　　氏原　嘉洋 | 異常な力学刺激によって誘導される心不全病態の再現と原因解明に向けた実験モデルの開発 | 100 万円 |
| 国立長寿医療研究センター<br>研究員　　江口　貴大 | 必須ミネラル $Mg^{2+}$による肥満予防・抗老化作用の分子機序の解明 | 100 万円 |
| 公益財団法人<br>冲中記念成人病研究所<br>研究員　　大沢　樹輝 | マルチオミクスデータを用いた心腎症候群の個別化医療戦略の確立 | 100 万円 |
| 北里大学　薬学部<br>教授　　大城　太一 | コレステロールエステル化酵素 SOAT アイソザイム阻害剤研究の再興と新展開 | 100 万円 |
| 愛知学院大学　歯学部<br>助教　　尾崎　令奈 | 歯周病によるアンジオポエチン様タンパク質 4(ANGPTL4)発現増強を介したメタボリックシンドロームへの影響 | 100 万円 |
| 新潟大学　脳研究所<br>准教授　　加藤　泰介 | 脳血管性認知症における脳血管平滑筋細胞変性機序の解明 | 100 万円 |
| 川崎医科大学<br>准教授　　角谷　裕之 | 筋腎クロストークに関与するマイオカインの腎保護作用の分子基盤と治療応用の探究 | 100 万円 |
| 名古屋大学<br>　大学院医学系研究科<br>大学院生<br>　　川邉　のぞみ | 変異 KRAS 肺癌の新規治療標的となる長鎖非翻訳 RNA の探索 | 100 万円 |
| 横浜市立大学　医学部<br>講師　　國本　博義 | がんゲノム異常に基づく高リスク骨髄異形成･骨髄増殖性腫瘍の分子基盤と個別化治療の研究開発 | 100 万円 |
| 群馬大学生体調節研究所<br>講師　　小松　哲郎 | 鉄による脂肪細胞エピゲノム制御に寄与する因子の同定と分子機序の解明 | 100 万円 |
| 国立長寿医療研究センター<br>研究員　　近藤　遼平 | マクロファージの遊走や活性を制御する新規メカニズムを標的とした糖尿病治療薬の開発 | 100 万円 |
| 岐阜大学<br>　大学院医学系研究科<br>臨床講師　　髙橋　佳大 | オーダーメイド型 MODY 再現マウスによる未知病的変異の解明と新規治療戦略の開拓 | 100 万円 |
| 近畿大学<br>　ライフサイエンス研究所<br>准教授　　武内　敏秀 | 適度な運動習慣がもたらすアルツハイマー病予防効果の分子基盤 | 100 万円 |
| 和歌山県立医科大学<br>　医学部<br>講師　　竹島　健 | 新規ヒト機能性副腎腫瘍細胞株の樹立による治療薬開発プラットフォームの確立 | 100 万円 |
| 日本大学　歯学部<br>准教授　　林　　良憲 | マクロファージに起因する神経軸索再ミエリン化因子の同定 | 100 万円 |

| 研　究　者　名 | 研　究　テ　ー　マ | 助成額 |
|---|---|---|
| 藤田医科大学　医学部<br>助教　　原口　卓也 | 膵β細胞における GLP-1・グルカゴン受容体系相互作用の変容とインスリン分泌調節機構の解明 | 100 万円 |
| 静岡県立大学　薬学部<br>助教　　疋田　智也 | がん細胞外小胞 - 脂肪 - 神経アキシスに着目した悪液質発症機構の解析 | 100 万円 |
| 金沢大学<br>医薬保健研究域薬学系<br>教授　　平野　圭一 | 創薬を指向したホウ素含有分子骨格の創出と応用 | 100 万円 |
| 和歌山県立医科大学<br>薬学部<br>講師　　福田　達也 | 神経膠芽腫の治療を目的とした機能性マイクロパッチ結合好中球製剤の開発 | 100 万円 |
| 富山大学<br>学術研究部薬学・和漢系<br>講師　　藤井　拓人 | 新規 $Na^+$/ポリアミン交換ポンプが関与する「こころ」の発達制御機構とその破綻が引き起こす神経疾患発症メカニズムの解明 | 100 万円 |
| 熊本大学病院<br>特任講師　　星山　禎 | 心房細動における発症メカニズムの包括的解明:マルチオミックス解析による新たな知見の創出 | 100 万円 |
| 名古屋大学<br>環境医学研究所<br>講師　　堀　　美香 | 家族性高コレステロール血症の新規遺伝要因の解明とモデリング | 100 万円 |
| 鹿児島大学<br>ヒトレトロウイルス学<br>共同研究センター<br>准教授　　松田　幸樹 | HIV 残存リザーバーを起因とする慢性炎症と血管障害・悪性腫瘍の発症機序の解明 | 100 万円 |
| 宮崎大学　医学部<br>助教　　三浦　綾子 | 肺胞マクロファージの恒常的遊走機構の分子基盤とその破綻 | 100 万円 |
| 札幌医科大学<br>医学部附属研究所<br>助教　　村田　憲治 | 網羅的がん精巣抗原探索による新規肉腫免疫療法の開発 | 100 万円 |
| 東京慈恵会医科大学<br>助教　　山下　祐 | 骨リモデリング因子 Fam102a を基盤とした革新的な骨粗鬆症治療戦略の開発 | 100 万円 |
| 名古屋市立大学<br>大学院薬学研究科<br>講師　　山城　貴弘 | 胎児への葉酸供給における新規葉酸トランスポーターの役割の解明 | 100 万円 |
| 東京大学<br>大学院工学系研究科<br>特任研究員<br>山本　賢蔵 | 組織構造・細胞応答の時系列イメージングに基づく動脈瘤拡張病態の解明 | 100 万円 |
| 国立医薬品食品衛生研究所<br>室長　　横尾　英知 | 慢性炎症の治療・評価を指向したプロスタグランジン D 合成酵素のケミカルノックダウン技術構築と分解効果の高速化 | 100 万円 |
| 広島大学病院<br>医科診療医<br>吉田　マリア | Karyomegalic Interstitial Nephritis を引き起こす新規 FAN1 遺伝子変異とその機能異常の解明 | 100 万円 |

| 研　究　者　名 | 研　究　テ　ー　マ | 助成額 |
|---|---|---|
| 公益財団法人がん研究会<br>研究助手　　米村　敦子 | がん性腹水中における免役抑制性微小環境を標的とした腹膜播種治療戦略の開発 | 100 万円 |

## 資料（２）令和７年度疾患別指定研究助成金交付

（研究者の所属は令和７年１２月４日現在）

（２件　２０００万円）　（敬称略）

**助成課題１　加齢に伴う骨髄機能変容と血管代謝機能・再生障害に関する研究**

| 研　究　者　名 | 研　究　テ　ー　マ | 助成額 |
|---|---|---|
| 名古屋大学<br>医学部附属病院<br>助教　　加藤　勝洋 | 加齢に伴う骨髄機能変容と血管代謝機能および再生障害に着目した新規心血管疾患治療法の開発研究 | 1000 万円 |

**助成課題２　腎リンパ管からの水と NaCL の輸送機構と血圧制御の機序解明に関する研究**

| 研　究　者　名 | 研　究　テ　ー　マ | 助成額 |
|---|---|---|
| 広島大学病院<br>教授　　正木　崇生 | 腎リンパ管の能動的ナトリウム・水排出経路としての役割に着目した血圧制御の機序解明 | 1000 万円 |

## 資料（３）令和７年度国際交流助成金交付

（研究者の所属は令和７年４月３０日現在）

**１．　国際シンポジウム開催助成**

（１）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 九州大学病院別府病院　教授　　三森　功士 |
| 名　　称 | NCI-AMED 早期診断研究網シンポジウム |
| 助成額 | １００万円 |

（２）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 京都大学　大学院生命科学研究科附属放射線生物研究センター<br>教授　　安原　崇哲 |
| 名　　称 | 第 39 回放射線生物研究センター国際シンポジウム |
| 助成額 | ５０万円 |

（３）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 京都府立医科大学　教授　　八木田　和弘 |
| 名　　称 | 時間生物学国際シンポジウム 2025 |
| 助成額 | ５０万円 |

（４）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 医療法人社団ハートクリニック　横浜院　院長　　柏　　淳 |
| 名　　称 | PRCP&WACP 合同学術集会 2025 東京 |
| 助成額 | １００万円 |

（５）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 福岡大学　医学部総合医学研究センター<br>教授　　廣瀬　伸一 |
| 名　　称 | 第 10 回 アザリアフェスティバルシンポジウム |
| 助成額 | １００万円 |

（６）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 藤田医科大学　医学部　准教授　　河合　秀樹 |
| 名　　称 | 第 31 回 日本心臓リハビリテーション学会学術集会 |
| 助成額 | ７５０万円 |

（７）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 藤田医科大学ばんたね病院　教授　　渡邉　英一 |
| 名　　称 | 第 71 回 日本不整脈心電学会学術大会　国際 AI サミット |
| 助成額 | １００万円 |

２．二国間国際共同研究助成

（１）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 岩手医科大学　医学部　准教授　　長谷川　豊 |
| 研究テーマ | 脂肪燃焼機構の解明と肥満・メタボリックシンドロームの新規治療法開拓 |
| 助成額 | １００万円 |

（２）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 杏林大学　医学部　助教　　中山　高宏 |
| 研究テーマ | 自閉症エピゲノム治療に向けた新しい戦略 |
| 助成額 | ５０万円 |

３．二国間学術交流集会開催助成

（１）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 日本医学歯学情報機構　理事　　新崎　章 |
| 研究テーマ | ベトナム　医師・歯科医師国家試験創設支援<br>フォローアップフォーラム |
| 助成額 | １００万円 |

## 資料（４）令和８年度国際交流(臨時)助成金交付

（研究者の所属は令和８年１月３１日現在）

１．　国際シンポジウム開催助成

（１）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 大分大学　医学部　教授　　柴田　洋孝 |
| 名　　称 | 第 22 回国際内分泌学会議 |
| 助成額 | １００万円 |

（２）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 大阪大学　大学院医学系研究科　教授　　下村　伊一郎 |
| 名　　称 | 第 18 回アジア糖尿病学会学術集会 |
| 助成額 | ３００万円 |

（３）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 摂南大学　看護学部　教授　　稲垣　美紀 |
| 名　　称 | 第 23 回日本循環器看護学会学術集会 |
| 助成額 | ２００万円 |

（４）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 東京医科大学　特任教授　　落谷　孝広 |
| 名　　称 | アジアパシフィック細胞外小胞学会学術集会 2026 |
| 助成額 | ５０万円 |

（５）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 名古屋大学　大学院情報学研究科　教授　　森　健策 |
| 名　　称 | コンピュータ支援放射線学と外科学に関する国際会議 |
| 助成額 | １００万円 |

（６）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 横浜市立大学　医学部　主任教授　　中島　秀明 |
| 名　　称 | 第 16 回 日本血液学会国際シンポジウム |
| 助成額 | ５０万円 |

２．二国間国際共同研究助成

（１）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 大阪大学　大学院医学系研究科　教授　　高橋　豊 |
| 研究テーマ | 粒子線を基盤とした難治性造血腫瘍に対する新規治療法の開発 |
| 助成額 | ５０万円 |

（２）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 岡山大学異分野融合教育研究機構中性子医療研究センター<br>准教授　　井川　和代 |
| 研究テーマ | 放射線がん治療（ホウ素中性子捕捉療法：BNCT）の国際標準化 |
| 助成額 | １００万円 |

（３）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 順天堂大学　医学部　准教授　　藤原　なほ |
| 研究テーマ | ヒルシュスプルング病術後残存腸移管粘膜の空間トランスクリプトーム解析と日加検証：細胞治療を見据えた国際共同研究 |
| 助成額 | ５０万円 |

## 資料（５）令和７年度心電学助成金交付

（研究者の所属は令和７年４月３０日現在）

| | |
|---|---|
| 申　請　者 | 東京慈恵会医科大学　教授　　山根　禎一<br>藤田医科大学ばんたね病院　教授　　渡邉　英一 |
| 使 途 内 容 | 優秀論文発表者研究助成金 |
| 助　成　額 | １５０万円 |

# 事業報告の附属明細書

（１）理事・監事・評議員の兼職の状況

事業報告１から２ページに記載のとおり。